

# スジボソヤマキチョウ

兵庫県：B

*Gonepteryx aspasia niphonica*

環境省：—

## 種の概要

前翅長28～40mm程度。翅の地色は♂では黄色、♀では白色で、前後翅の裏面に赤褐色の斑紋を有する。前翅端は尖る。山地に生息し、幼虫はクロツバラ、クロウメモドキなどを食べる。年1化性で、成虫は6月に出現して成虫で越冬し、翌年の5月頃まで見られる。



写真提供：近藤伸一

## 国内分布

本州、四国、九州

## 県内分布記録

神戸市、川西市、猪名川町、西脇市、多可町、姫路市、神河町、福崎町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波篠山市

## 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○			○		

## 特記事項

要注目種からBランクに変更

食餌植物であるクロウメモドキ類の分布が極限されていることに加え、生息地のブッシュ化、シカの食害による植生の単純化など、生息環境の悪化が進み、分布区域、個体数が激減している。

## 保護上の留意点